

平成20年7月3省合同審議会

既存化学物質審査物質（生態影響）
に係る分解性・蓄積性データ

既存化学物質安全性点検データ

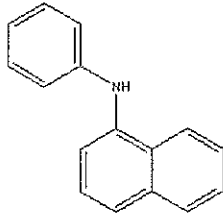
データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報(平成13年1月5日以前は通産省公報)公表内容

公表名称	公表年月日	点検結果
N-フェニル-1-ナフチルアミン	昭和57年12月28日	濃縮性が中程度と判断される化学物質

物質情報

構造式



CAS番号	90-30-2
点検対象物質名称	N-フェニル-1-ナフチルアミン

官報公示整理番号	官報公示名称
4-329	1-(N-フェニルアミノ)-ナフタレン

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	2週間	100ppm	30ppm

間接測定	BOD	直接測定	UV-VIS	GC
	0%		*(-)%	*(-)%

備考

*分解度が負の値になったため(-)と表記した。

濃縮性

判定	中濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	魚種
7.9ppm	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量(%)
標準	8週間	コイ	5.4

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	0.1ppm	427 ~ 2730
第2濃度区	0.01ppm	889 ~ 2490

既存化学物質安全性点検データ

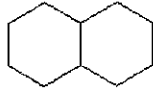
データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報(平成13年1月5日以前は通産省公報)公表内容

公表名称	公表年月日	点検結果
デカヒドロナフタレン [官報公示整理番号:4-575]	平成3年12月27日	蓄積性がない又は低いと判断される化学物質

物質情報

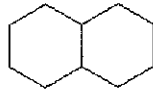
構造式



CAS番号	91-17-8
点検対象物質名称	デカヒドロナフタレン
官報公示整理番号	官報公示名称
4-575	ビシクロ[4, 4, 0]デカン

分解性

構造式



CAS番号	91-17-8
被験物質名称	デカヒドロナフタレン(cis-, trans-混合物)

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
揮発	4週間	100ppm	30ppm

間接測定	BOD	直接測定	GC(trans-体)	GC(cis-体)
	2%		3%	5%

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	魚種
1.84mg/L	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量(%)
揮発	8週間	コイ	4.1

trans体

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	2.8µg/L	1170 ~ 3050
第2濃度区	0.28µg/L	1300 ~ 2510

cis体

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	2.1 μ g/L	839 ~ 2380
第2濃度区	0.21 μ g/L	1290 ~ 2400

総合検索システムへ
91-17-8

[前画面に戻る](#)

既存化学物質安全性点検データ

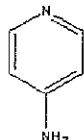
データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報(平成13年1月5日以前は通産省公報)公表内容

公表名称	公表年月日	点検結果
4-アミノピリジン	昭和57年12月28日	濃縮性がない又は低いと判断される化学物質

物質情報

構造式



CAS番号	504-24-5
点検対象物質名称	4-アミノピリジン
官報公示整理番号	官報公示名称
5-724	2又は4-アミノピリジン

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4週間	100ppm	30ppm

間接測定	BOD
	0%

直接測定	TOC	HPLC
	2%	0%

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	魚種
2.65ppm	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量(%)
標準	6週間	コイ	5.7

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	50ppb	<0.2 ~ (0.6)
第2濃度区	5ppb	<1.8 ~ (7.2)

既存化学物質安全性点検データ

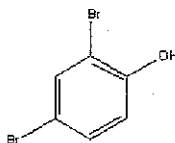
データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報(平成13年1月5日以前は通産省公報)公表内容

公表名称	公表年月日	点検結果
2,4-ジブロモフェノール [官報公示整理番号:3-907] [CAS番号:615-58-7]	平成14年11月8日	難分解性ではあるが高濃縮性ではないと判断される物質

物質情報

構造式



CAS番号	615-58-7
点検対象物質名称	2,4-ジブロモフェノール
官報公示整理番号	官報公示名称
3-907	2,4-ジブロモフェノール

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4週間	100mg/L	30mg/L

間接測定	BOD	直接測定	HPLC
	0%		2%

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

LC50値(96hr)	魚種
12mg/L	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量(%)	
			開始前	終了後
標準	28日間	コイ	3.3	3

	濃度設定	濃縮倍率(BCF _{SS})
第1濃度区	100µg/L	16
第2濃度区	10µg/L	27

総合検索システムへ
615-58-7

前画面に戻る

既存化学物質安全性点検データ

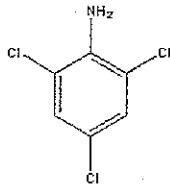
データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報(平成13年1月5日以前は通産省公報)公表内容

公表名称	公表年月日	点検結果
2, 4, 6-トリクロロアニリン	昭和57年12月28日	濃縮性がない又は低いと判断される化学物質

物質情報

構造式



CAS番号	634-93-5
点検対象物質名称	2, 4, 6-トリクロロアニリン

官報公示整理番号	官報公示名称
3-290	トリクロロアニリン

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4週間	100ppm	30ppm

間接測定	BOD	直接測定	HPLC
	0%		3%

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	魚種
8.2ppm	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量(%)
標準	8週間	コイ	4.9

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	100ppb	27 ~ 112
第2濃度区	10ppb	(52) ~ 147

総合検索システムへ
634-93-5

前画面に戻る

既存化学物質安全性点検データ

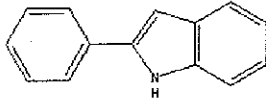
データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報(平成13年1月5日以前は通産省公報)公表内容

公表名称	公表年月日	点検結果
2-フェニルインドール [官報公示整理番号:5-137]	平成6年12月28日	高濃縮性ではないと判断される物質

物質情報

構造式



CAS番号	948-65-2
点検対象物質名称	2-フェニルインドール

官報公示整理番号	官報公示名称
5-137	2-フェニルインドール

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	2週間	100ppm	30ppm

間接測定	BOD	直接測定	HPLC
	0%		0.7%

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	魚種
1.35mg/L	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量(%)
標準	6週間	コイ	4.4

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	20µg/L	198 ~ 350
第2濃度区	2µg/L	177 ~ 370

総合検索システムへ
948-65-2

前画面に戻る